

協働の機会提案書(アイデア提案用)

H28年 9月 26日

印西市長 板倉正直 様

(登録者) 登録番号 28-002
名称 勇気づけサークルでこぼこピース
所在地 印西市西の原
代表者職氏名 代表 北村倫子 ㊞
連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	アドラー心理学による「勇気づけコミュニケーション」のすすめ
現状・課題 (指定テーマ型の場合 はテーマ名のみ記入)	男女共同参画に関わる啓発事業の実施
提案理由	男女共同参画社会の最小単位は家庭である。夫婦が尊敬しあい、認めあい、よりよい関係を築くことは、子どもの成長にも影響を与える。「人生の困難なことのほとんどは対人関係の中にある」とするアドラー心理学を知ることは、男女を問わず一人ひとりの個性と能力を發揮することを目的とする男女共同参画啓発講座の素材に適していると考えます。
提案内容 (予算の概算も記入)	子育て世代は、夫婦の在り方が子どもにも影響を与えるため、特に自己肯定感の大切さを知ることが必要である。そこで今回は外部講師による講演会『アドラー心理学による勇気づけのすすめ』を1回と内部講師による『勇気づけ講座』を2時間半×2回の連続講座を2回開講。予算は約15万円
貴団体の特性、協働 で実施するメリット (提案者が事業実施できる能 力や有利なアピールポイント)	勇気づけでこぼこピースは、2013年6月より毎月1回(8月は除く)勇気づけ勉強会を開催し、2016年7月までに延べ152名が参加。専門的知識を持つ講師とのパイプもあり、新たな視点での講座内容を提供することができる。
事業実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の 展望も記入)	家庭内における固定的性別役割分担意識の解消につながる。 自己肯定感を上げ、一人ひとりの人権と多様な生き方を尊重するためのきっかけをつくる。 男女共同参画に関する問題に対して解決につながる気づきを得る。

協働事業計画書			
事業名	アドラー心理学による「勇気づけコミュニケーションのすすめ」		
事業の目的	自己肯定感を上げ、男女にかかわらず個性や能力を尊重することで一人ひとりの人権と多様な生き方を認めていききっかけをつくる。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 男女共同参画の推進 (部署名) 市民活動推進課		
事業期間	平成29年 4月 1日 ～ 平成30年 3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者	市	
	<事業の企画・運営、講師選定> * 子育て中の方、子どもとの関わりに興味のある方対象 ・講演会(外部講師) ・「勇気づけ ELM 講座」 2時間半×2回の連続講座を2回 募集人数…各20名 ・フォローアップ会…講座参加者限定	<参加者の募集・取りまとめ・その他の調整> ・広報掲載、HP ・チラシ配布…公共施設、小学校、幼保育園 ・会場確保、日程調整 ・消耗品の提供 ・アンケート作成	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	18,000 円	118,000 円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	外部講師(アドラーシニアカウンセラー)1名と内部講師(ELMトレーナー)2名、ボランティア、市の協力により講演会と講座を企画運営する。		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	・当団体が事業を担うことによる認知が拡大。 ・団体の目的である「自分を知り、人とよりよい関係をつくるための啓発」の推進。	・男女共同参画に関する意識の向上。 ・家族の在り方を見直し、個々が自己肯定感を育むきっかけとなる。	・市民の男女共同参画に関する意識の向上 ・新たな視点での講座内容により、男女共同参画に関する参加者の増加。
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	メール、対面により、随時意見交換		
事業の周知や評価の方法	周知方法は、印西市 HP, 広報紙、地域紙に掲載。公共施設、学校へチラシ配布。 評価方法は、参加者へのアンケートによる。		
備考	関係団体等		
	その他(添付書類等)		

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費（無償分を含む） 金 149,600 円

市から団体への委託費 （金 118,000 円）

【歳入】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
市に負担を求める額	人件費、報償費、旅費、印刷製本費、	118,000
その他収入		
提案者負担分	消耗品、食糧費	18,000
無償労働力等換算金額		(13,600)
合 計（無償分を含めない）		136,000
無償分を含めた合計額		(149,600)

【歳出】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
人件費	講座運営 2.5 時間×2,000 円×4 回×2 人=40,000	40,000
報償費	講師謝礼	50,000
旅費	講師交通費	4,000
印刷製本費	・講演会チラシ (A4 色紙 250 枚入り 250 円×40=10,000 円) ・講座チラシ (A4 色紙 250 枚入り 250 円×40=10,000 円) ・講座資料(100 円×40 部=4000 円)	24,000
消耗品	講演会場費(花、他会場作り)	8,000
食糧費	外部講師お弁当、講座お茶菓子代	10,000
提案者が負担する 無償労働力	850 円×2時間×8 人=13,600 円	(13,600)
提案者が負担する 無償機材等	〇〇〇円×〇〇日=〇〇〇円	(円)
合 計（無償分を含めない）		136,000 円
無償分を含めた合計額		(149,600)

年間事業スケジュール

実施予定日	活 動 内 容	必要経費	参加人数
H29年6月 ～8月	・講演会『アドラー心理学による勇気づけのすすめ』(仮題)	72,500円	80人
H29年10月下旬 ～11月	・『勇気づけ講座』1回目	61,500円	20人
H30年1月	2回目		20人
H30年2月	・フォローアップ会	2,000円	40人 (参加希望者)

